

農林大学校だより

sinrei 榛 黎

第72号

令和2年3月19日
発行

群馬県立農林大学校

〒370-3105 群馬県高崎市箕郷町西明屋1005
TEL: 027-371-3244 FAX: 027-371-6968
<http://www.gunma-iaf.ac.jp>

全力で駆け抜けた
2年間!



榛名登山

(令和元年5月16日)

次の100年に
向けて

校長
篠原 信行



2年生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは、びっしり詰まったカリキュラムの中で実習を中心に一生懸命勉強するとともに、榛名登山や榛の木祭などの学校行事にも積極的に参加し、本当によく頑張ったと思います。まさに全力で駆け抜けた2年間だったのではないのでしょうか。また、寮生活では共同生活を通して掛け替えのない仲間と友情を育み、人間として大きく成長したと思います。社会人コース、農業実践学校の専門技術課程を修了した皆さんも1年間と短い期間でありましたが、同じ志を持った仲間と切磋琢磨し充実した学生生活を送られたことと思います。

現在の農林業を取り巻く情勢は担い手の減少や高齢化、耕作放棄地の増加など厳しい状況にあります。その中で意欲のある担い手が育ち、規模拡大が図られ、最先端のスマート農業・林業の導入が進められるなど、大きな転換期を迎えています。これから皆さんは、それぞれ新たな一歩を踏み出すわけですが、大きな夢を抱いて、これまで本校において培ってきた実践力、経営力、人間力を発揮して、こうした新たな時代の農林業の担い手、関連する産業の中心的な従事者として大いに活躍してほしいと思います。

奇しくも今年本校は、大正9年の農業技術員養成所から数え100周年という大きな節目を迎えます。これまで卒業生は1万2千人を超え、本県の農林業を支える一大ネットワークを形成しています。この期を捉え、次の100年に向け農林大のネットワークを更に広げ、互いに連携し力を合わせて地域に根ざした「ぐんまの農林業」をもっともっと元気にしてほしいと願っています。

これからの皆さんの活躍を期待しています。

礼節重んじ 前向きな人生を

後援会 会長
瀬下 洋一



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。学生寮への入寮から始まった2年間の農林大学校の学生生活は、様々なことが思い出されるでしょう。私たち保護者としては、成長を感じられた嬉しく短い2年間でした。これもひとえに校長先生をはじめ、教職員皆様のご指導の賜物と感謝申し上げます。

4月から新しい道に踏み出す皆さんに二つ「お願い」を申し上げます。一つ目は、礼節を重んじる人になってください。相手を尊敬し、自分を謙遜し、行いを丁寧にすることが「礼」です。この「礼」を時に即し、場合に応じて、自分の行動ができるように、わきまえることが「節」です。「礼節」を知って初めて一人前の人間といえると言われていました。

二つ目は、ある本に載っていた言葉です。『どんな仕事にも立ち止まる時期がある。立ち止まって迷う。それは慣れて余裕が出てきた証拠でもあります。間違いも起きやすいものです。そんな時に大事なのは、顔がどちらを向いているかです。過去にこだわり後ろ向きで立ち止まることを「後悔」と言います。そして未来を見つめ前向きで立ち止まることを「覚悟」と言います。』これがよく言う「前向き」の意味かと考えます。後で後悔しないように今を過ごしていただきたい。前向きに事を進めるといことは覚悟決めるということです。

以上臆として二つ「お願い」を申し上げ、卒業生が明るい未来を掴み取ることと農林大学校の益々の繁栄と校長先生並びに教職員皆様のご多幸をご祈念いたしましてお祝いの挨拶といたします。

卒業おめでとう



野菜コース



花き・果樹コース



酪農肉牛コース



農と食のビジネスコース



森林コース



社会人コース

保護者からの一言

卒業おめでとう



静野 紀代美

入校式の前日から寮生活が始まり、親としては農林大に入学する喜びより、不安が大きかった事を昨日のこのように思い出します。無事卒業の日を迎えることができ、2年間の月日の早さを痛感しています。

最初は不安だった寮生活もすぐに慣れて、仲間たちと過ごした楽しい時間は、かけがえのない宝物となったことでしょうか。この2年間で、たくさんのことを学び、たくさんの経験をさせて頂きました。農林大の学生生活で学んだ全ては社会人になっても役に立つことでしょうか。これからの人生の中で、時には辛い経験をするかも知れません。そんな時は、農林大での経験や大切な仲間が力になってくれるはず。どんな困難も乗り越えられると信じています。自分らしく頑張ってください。

今まで温かく見守りご指導くださいました教職員の皆様、お世話になった全ての方々に心より感謝申し上げます。

迷わず自分の道を進んで



原沢 智子

つい先日、入学したと思っていたら、もう卒業。2年間は本当に早いんですね。初めは不安なこと、心配なこともあったと思いますが、良い仲間にも恵まれ楽しく学校生活を送ることができてよかったですね。しっかり守られ、大切に育ててもらいましたね。とても内容の濃い充実した2年間だったと思います。新しいことにチャレンジする姿に勇気づけられ、頑張っている様子に刺激をもらい、私自身も様々なことに取り組むことができました。

これからは社会人としてより責任をもって過ごしていかなければなりません。学生時代に比べ辛いこと悔しいことも多くあるかもしれませんが、けれど2年間を共に過ごした仲間はいつでもあなたの味方です。先生方も力になってくださいます。どうか迷わず自分の道を進んでいってください。2年間温かく見守り指導して下さった先生方や関係するすべての皆様に感謝いたします。

学校生活の思い出

野菜コース2年
神宮 祥



私はこの2年間で様々な思い出をつくる事ができました。中でも、一番の思い出はたくさんの人と出会えた事です。

私は入学当初、とても寮での生活が不安でした。しかし、いざ生活してみると、様々な場面でたくさんの人と関わる事があり、たくさんの友人をつくる事ができました。寮で、ばかみたいなお話をしたり、授業や実習でコースの人とはしゃぎながらも熱心に学び、時にはマラソン大会やスポーツ大会などで競い合い、楽しい日々を過ごしました。

この文を書きながらも今、色々な思い出がよみがえり、とても懐かしく感じます。そんな楽しかった日々も、終わりを迎え、卒業です。友人達、先生方、その他の関わってくれた人、直接は恥ずかしいのでこの場で感謝を伝えさせていただきます。「みんな、ありがとう!」

花き・果樹コース2年
一場 大輝



私は農林大で果樹の栽培管理、販売、加工を学びました。栽培管理では、多品目の果樹を小人数で管理することはとても大変でしたが、苦勞して作った果物はとてもおいしく感じました。加工では、シロップやジャムを作りました。榛の木祭に向けて気が遠くなるほど作った時はとても大変でした。販売では、榛の木祭や販売学習で多くのお客様と接し、最初は商品の説明がうまくいかず、先輩や先生に助けをもらいましたが、品種の特徴を理解し、的確に伝えることの重要性を学びました。

また、寮生活や野球部の活動を通してたくさんの仲間と出会うことができました。友人と次郎系ラーメンにはまり、食べ歩きをして7kg太ってしまったことも今ではいい思い出です。農林大で得たことを無駄にせず就職先であるJAでも頑張っていきたいと思えます。



酪農肉牛コース2年
小倉 凌斗

農林大学酪農肉牛コースに入学して最初に驚いた事は、牛舎管理を学生主体で行っている事でした。実習終了後のミーティングでは、普段聞き慣れない言葉が飛び交い、理解できるようになれるのか不安でした。そして、1年が経過し2年生になった頃には、優しい先輩方と個性あふれる豊かな仲間達に恵まれたおかげで、学校生活にもすっかり慣れ、今度は私達が1年生に実習を教える側になりました。実習作業を分かりやすく説明するのは、思った以上に大変で、先輩方の苦勞を身をもって痛感しました。この2年間で、酪農業の基礎的な知識や技術をはじめ、仕事をする上でのコミュニケーションの重要性、自己管理能力の向上など、学校生活すべてを通して多くの事を身に付けさせていただきました。この学校を卒業された先輩方に続き、私も今度は社会人として活躍していきたいです。



社会人コース2年
香川 太一

農林大学社会人コースで1年間、農業経営や作物栽培、実践的な実習による技術の勉強をしました。今まで疑問に思っていたことや分からなかったことが勉強していくうちに分かりとても楽しく感じました。学校生活の中で一番の思い出は課題研究と榛の木祭です。課題研究はコマツナについて調べ、自分で品種を決めて播種から収穫までを行いました。播種機を使用したの播種は初めてで、農機具を使って経験をすることで多くの技術が身に付き、収穫後の調査では、品種によって様々な違いがあることがわかりました。榛の木祭では、学校で栽培した作物を使って自分たちで丼物を販売したところ、お客さんから「美味しい」と言ってもらえ、販売することの喜びを味わいました。1年間という短い期間でしたが、たくさんの経験をさせてもらい楽しい時間を過ごすことができました。今後、就農に向け学校で身に付けた技術を活かしていこうと思います。



農と食のビジネス
コース2年
松丸 穂香

2年遅れで入学した私は不安で胸がいっぱいでした。けれど、今となってはこのタイミングで入学できて本当に良かったと思っています。先輩・後輩・先生。そして何より、同輩に恵まれたからです。存分にバカをして、たくさんしゃべられたのは紛れもなく仲間たちのおかげです。衣食住を共にし、喜怒哀楽をさらけ出したからこそ、かけがえのない存在がたくさんできました。初めてのサツマイモ苗作りでは怒涛の残業で、農業の大変さを痛感。榛名登山では自然の雄大さに触れ、スポーツ大会ではお揃いの服に身を包み、もう一度青春を味わえたようで嬉しかったです。楽しくてあっという間な2年間をありがとう。秒速で過ぎ去っていった日々は大切な宝物です。これからの新生活、きっと楽しいことばかりではないと思いますが、素敵な皆様の門出が輝かしいものになりますように“乾杯”。また逢う日まで、さようなら。



森林コース2年
照島 和幸

農林大に入学してから2年。振り返ってみれば長かったような短かったような。そんな学生生活の思い出といえば、榛の木祭などのイベント、課題研究など大掛かりなものではなく、いつもの日常でした。農林大の日々の生活は、友人と一緒にいられるだけで楽しい毎日でした。ただただとりとめない会話をしたり、不満を愚痴ったり、ときたま外にご飯を食べに行ったりもしました。特に変わったこともない、そんなありふれた日常が好きでした。舎監さんたちからは、人生の先輩としてこれまで歩んでこられた経験を語ってもらったり、大人からみれば些細な悩みなどを聞いてもらったり、叱咤激励をいただいたりと、同級生や職員たちとはまた違ったお話ができたことは貴重な経験だと思っています。周りの人たちののおかげで2年間楽しく過ごすことができ幸せでした。

在校生からのメッセージ



素晴らしい人生を
野菜コース1年 奈良田 賢人

ご卒業される先輩方、誠にありがとうございます。先輩方には授業や部活、イベントなど様々な場面でお世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。中でも印象に残っているのは日々の実習です。農業機械の操作や農薬・肥料の使用方法などを熱心に教えて頂いたおかげで、いま私たちは安心して日々の実習を進めることができます。先輩方から得た知識・経験を活かして畑を守り抜き、必ずや後輩たちへと引き継いでゆきます。暑い日も寒い日も、的確なご指導を本当にありがとうございました。農林大学校での2年間を終え、それぞれの道へと進む先輩方は今、大きな不安を抱えていることと思います。しかし、先輩方なら必ず乗り越え、素晴らしい人生を歩んでゆけると確信しています。Hoping your fruitful future!



今までありがとう
花き・果樹コース1年 牧島 直輝

2年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。オープンキャンパスの時、私はとても緊張していましたが、先輩方の和やかな雰囲気緊張がほぐれ、とても良い雰囲気だと思い、この学校を選びました。入学時、右も左もわからなかった私たちに先輩方は優しく手をさしのべてくださいました。校内スポーツ大会などで先輩方との距離が近くなりうれしく思いましたが、1年はあっという間でもう先輩方は卒業の時期になってしまいました。私たちも先輩方を見習い、今後入学してくる後輩たちに優しく接したいと思います。今後先輩方は、新しい環境になり不安になることがあると思いますが、農林大学校で学んだことや経験を糧に頑張ってください。今までありがとうございました。



頼もしい先輩
酪農肉牛コース1年 千木良 優奈

2年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。長いようで短い充実した1年間でした。農林大学校に入学してすぐに専門実習が始まり、初めての事ばかりで大きな不安を抱えていましたが、先輩方の丁寧なご指導のおかげで、今では1年生だけでそつなくこなせるようになりました。優しく指導してくれる姿はとても頼もしく見え、私も先輩のような2年生になりたいと強く感じました。先輩方から教わった事を胸に、次の後輩に伝えていき、私たちはこれからも頑張っていきます。先輩方のような明るく、優しく、頼れるような人間になれるよう努力していきます。今までお世話になり、本当にありがとうございました。先輩方のこれからのご活躍を心よりお祈りしています。



カッコいい先輩 卒業おめでとう
農と食のビジネスコース1年 新井 美優

2年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。1年間ありがとうございました。先輩方は一から丁寧に教えてくださり、とても作業がやりやすかったことを今でも覚えています。また、先輩方はいつも笑顔で実習をされていて、私たち1年生はそんな先輩方の楽しそうな姿を見て、笑顔の絶えない先輩方のようにになりたいと思いました。他にも専門実習や課題研究に対して熱心に取り組まれていて、とてもかっこよかったです。農林大学校を卒業後、それぞれの夢に向かって進まれると思います。今以上に大変なこと、苦しいことがたくさんあると思いますが、先輩方の持ち前の明るさ、笑顔で乗り越えられると信じています。



先輩の活躍を 応援しています
森林コース1年 都丸 美優

2年生の皆様、この度はご卒業おめでとうございます。森林コースでは先輩方と合同で何かを進めるという実習や活動が少なく関わることのできる機会があまりありませんでした。しかし11月の榛の木祭では親しみやすく優しく話し掛けていただき、分からないことがあれば丁寧に指導をしてくださりました。初めての榛の木祭、期待が膨らむ反面、不安も多かったのですが、先輩方の優しさや頼もしさのお陰でイベントや販売を森林コース全体で大成功に収めることができました。1年間という短い時間の中で先輩から学んだことを後輩にも伝えていけるよう日々精進を重ねていきたいと思っています。最後になりますが、先輩方の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

農林大の一年

5月



榛名登山
野菜コース1年 細井 翔太

榛名登山は入学して最初に行われる年中行事です。「登山」とは名ばかりで、その実態は榛名湖までのマラソン大会です。走行距離13km・標高差800mを駆け上らなければならず、ゴールまでの道のりは大変険しいものです。農業に必要な体力・精神力を極限まで発揮し、自分の限界に挑戦する…まさに農林大生の真価が問われる行事です。私は今年度、この榛名登山において1年生ながら優勝しました。キャベツ農家に生まれ、幼い頃から農作業を手伝っていたため、体力には自信がりましたが、榛名湖までの道のりは想像以上に壮絶で、何度も脚がもげそうになりました。来年度は戦略的にペース配分を行い、より好タイムでの2連覇を果たしたいです。そして後輩たちに、立派な農林大生になることの厳しさを示したいです。

6月



校内スポーツ大会
森林コース1年 田部井 慎太

校内スポーツ大会では、障害物競走、玉入れ、大縄跳び、ムカデリレー、騎馬戦、綱引き、借り物競争、ドッチボールの8種目を農業経営学科と農林業ビジネス学科に分かれての紅白対決で行われました。特に騎馬戦では先輩方の気迫で圧倒され、いつも以上の力強さを感じました。また、どの種目でもそれぞれの学科が一丸となり、目標に向かって一生懸命頑張る先輩方の姿や明るさ、行事に対しての積極的な姿勢が印象的でした。初めてのスポーツ大会で緊張気味だった私たち1年生に対し、明るく優しく接して導いてくださり、とても感謝しています。先輩方の姿を見習い、次回の校内スポーツ大会では今回以上に盛り上げられるよう頑張ります。

10月



箕輪城祭り
農と食のビジネスコース1年 酒井 夢実

「いつかは甲冑を着たい!」。そう思っていた私にとって、箕輪城祭りは最高のお祭りでした。頭から足の先まで実行委員の方々の手作り甲冑を身につけ、武将に変身し、武者行列や城の本丸での攻防戦と、戦国時代にタイムスリップしたような気分になりました。また、全国から箕輪城祭りのために集まった武将の方々と写真を撮ったり、甲冑や殺陣についてお話をすることはとても楽しかったです。特に印象に残ったことは、武将の方々が、祭りの終盤でゲリラ豪雨に見舞われ、ずぶ濡れになりながらも本格的な殺陣を披露していた姿です。来年の箕輪城祭りはもっと仲間を誘って、大勢で参加し、農林大生で盛り上げたいと思います。

11月



榛の木祭
酪農肉牛コース1年 深津 達未

「巻き起こせ! 令和最初の農の秋」をテーマに11月9日・10日の2日間、榛の木祭が盛大に開催されました。両日とも秋の好天に恵まれ、例年以上に数多くの来場者で賑わいました。そのためか用意した野菜や花などの農産物が瞬間に売り切れ、ご来場の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。模擬店や寄せ植え体験、収穫体験、餅つきなどのイベントも好評でした。体育館ステージでは男装女装コンテストや軽音楽で盛り上がりました。チャリティーバザー品へのご協力も感謝いたします。また、展示コーナーでは、学生の課題研究を紹介するなど農林大の魅力をPRしました。学生も事前準備等を含めて、くたくたになりながらも、一つのイベントをやり遂げる事ができ、一回り大きく成長しました。来年も是非ご来場ください。

12月



課題研究発表会
花き・果樹コース1年 大坪 直也

課題研究は、自らテーマを選定して問題解決を図り、成果をとりまとめる学習です。発表内容は、栽培現場が抱えている課題や新技術の導入、六次産業化の取り組みなど、興味深いテーマとなっており、どの発表も先輩方の頑張りが感じられました。私の家はリンゴ農家です。そのため、リンゴを使った課題研究に取り組む予定です。具体的な計画はこれから立てていきますが、いずれ就農する時に役立つような研究内容にしていきたいと考えています。今年の先輩は、全国大会に出場しましたので、私たち後輩も、先輩に続けるよう頑張りたいと思います。

職員からの贈る言葉



更なる活躍を期待します
酪農肉牛コース長
狩野 春男

2年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。農林大での寮生活や実習、講義、各種の行事などでたくさんの思い出をつくれたのではないのでしょうか。専門実習では大変な作業もあったと思いますが、仲間と力を合わせて取り組む不思議と楽しく「絆」を深めることができたと思います。私も皆さんと一緒に作業やイベントなどに参加したことは楽しかったし、良い思い出となりました。皆さんはこれから社会人として活躍していくわけですが、これからの生活は順調に進むことばかりではなく、辛いことや困難な問題も起こることもあるかと思っています。辛い時こそ仲間や人間関係を大切に色々な事を学ぶことで、困難な問題や新しい事へ挑戦していく力を身に付ける事ができると思います。農林大で得た経験や仲間を力にして、更なる活躍を期待します。



現実世界へ行く
農と食のビジネスコース長
大隅 玄江

ご卒業おめでとうございます。濃密な学生生活を終え、まさに今新しい自分をイメージし、やる気に満ち溢れていることでしょうか。しかし、これからが現実世界。社会に出ると少しずつ責任が増えていき、失敗したり頑張ってもうまくいかず悩むこともあると思います。そんな時は、「迷惑をかける勇気があれば助けてくれる人は周りにいる」ことを思い出してください。私は社会に出てから自分の力不足により大きな失敗を経験しました。この経験から、自分の思いや弱い部分を正直にさらけ出すことができるようになり、たくさんの方に支えて頂き何とか邁進してこれました。人に迷惑をかけるのは相手を信頼しているということ。お互いを信頼して働くことはとても人間らしい働き方ではないでしょうか。そして誰かのために何かできるのは素敵な事だと思います。皆さんの農林大での生きる力を見る限り心配無用です。ご活躍を心からお祈りしています。

自治会役員の紹介

2年生から1年生へと自治会のバトンが渡され、少し不安はありますが、新メンバーでより良い学校づくりに邁進してゆきたいと思います。後輩たちにバトンを受け継ぐ時には、このメンバーで良かったと思えるよう、学校行事などに全力を尽くしていきます!

- | | |
|------------|-----------|
| (前列左から) | (後列左から) |
| 副会長: 狩野 春菜 | 書記: 飛澤 悠人 |
| 会長: 会沢 飛翼 | 会計: 林 政斗 |
| 副会長: 富沢 大輝 | 書記: 都丸 美優 |
| 副会長: 大坪 直也 | 会計: 竹淵 紅音 |



関東ブロックや全国大会で入賞しました!

「関東ブロック農業大学学校等実績発表会」及び「全国農業大学学校プロジェクト発表会・意見発表会」において、本校の代表として発表・入賞しました!!

●「関東ブロック農業大学学校等実績発表会」で発表した方



(写真左から)
宮城 真之安 (花き・果樹コース2年)、
青木 繁和 (農と食のビジネスコース1年)、
原沢 藍子 (農と食のビジネスコース2年)、
豊口 和輝 (野菜コース2年)
※青木さん、原沢さんが関東ブロックの代表として全国大会に出場しました。

●「全国農業大学学校プロジェクト発表会・意見発表会」で入賞した方



原沢 藍子 (農と食のビジネスコース2年)
プロジェクト発表
3位特別賞「農業大学校同窓会全国連盟賞」



青木 繁和 (農と食のビジネスコース1年)
意見発表
優良賞「全国農業大学校協議会会長賞」

研修部

ぐんま農業実践学校

農林大学校では、群馬県内で就農を志す方を対象に2019年度「ぐんま農業実践学校」を開校しました。実習を中心とした研修を行い、ニーズに合わせた様々なコースの中で、農業に関する知識や作物栽培に必要な基礎知識、農業経営に必要な知識およびこれらに関する技術等の取得をしました。

今年度は延べ130名以上の方が入校し、20代から70代までの幅広い年齢層の方が、新たな農業の担い手を目指して学びました。日々の実習では、研修生が協力して行う農作業が多くあるため、連帯感が生まれ、かけがえのない仲間をつくることができました。

修了後、研修生は県内各地で就農し、高齢化や担い手不足などに直面する本県農業の活性化に向けて、地域農業の担い手としての活躍が期待されています。

2019年度の実績は表1のとおりです。



表1：2019年度「ぐんま農業実践学校」実績

課程・コース	定員	入校者数
野菜専門技術課程	20名	20名
野菜基礎技術課程	春夏野菜平日コース	24名
	春夏野菜日曜コース	24名
	秋冬野菜平日コース	24名
	秋冬野菜日曜コース	24名
推進品目課程	露地ナスコース	8名
	秋冬ネギコース	5名
農業体験講座	10名	12名

研修生の言葉



ぐんま農業実践学校
野菜専門技術課程
山崎 順子

直売所で売れる野菜を作りたいと思い、年齢制限ぎりぎりに入校させていただきました。学校では栽培講義や圃場での実習をはじめ、機械研修、視察など、70回の限られた時間の中で、本当に多くの事を学習できました。実習したことを家でも実践し、規模に応じた機械導入、施設の必要性を痛感しました。研修生との情報交換もとても有意義でした。年齢・職業・経験も様々ですが、前向きで熱心な研修生20人。知恵や能力を結集し、実践学校の特色を生かした模擬店や収穫体験等で「榛の木祭」を乗り切りました。

実習のために十分な準備を整えてくださった先生や職員の皆様に感謝するとともに、何年か先に農業者として成長した姿を、仲間の皆さんと見せられるように取り組んでいきたいと思っています。

農業機械研修

本校では、学生及び農業者等を対象として大型特殊自動車（農耕車限定）の免許取得研修を実施しています。校内に設置された運転練習コースにおいて、大型トラクターの基本操作と安全な道路走行を学び、研修最終日の技能試験に合格すると運転免許を取得できます。また、免許資格取得者を対象に作業機の脱着や調整、ロータリ耕など実践的な技術研修を行っています。この他にけん引免許（農耕車）取得研修、フォークリフト安全技能講習、農業機械の整備等について数多くの研修を実施しています。2019年度の実績は表2のとおりです。



表2：2019年度農業機械研修（学生のみ）実績

研修名	実績		
	実施回数	受講者	合格者
免許取得研修	回	人	人
大型トラクター 基礎研修	3	59	59
大型トラクター けん引研修	1	10	10
フォークリフト 運転技能研修	1	47	47
車両系建設機械 操作研修	1	48	48